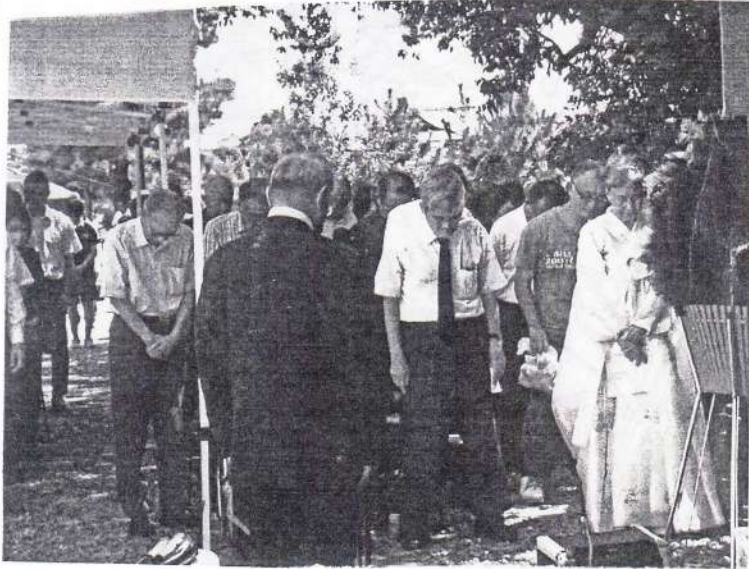


* 今月の花
ヨウシュ
ヤマゴボウ

名古屋・覚王山

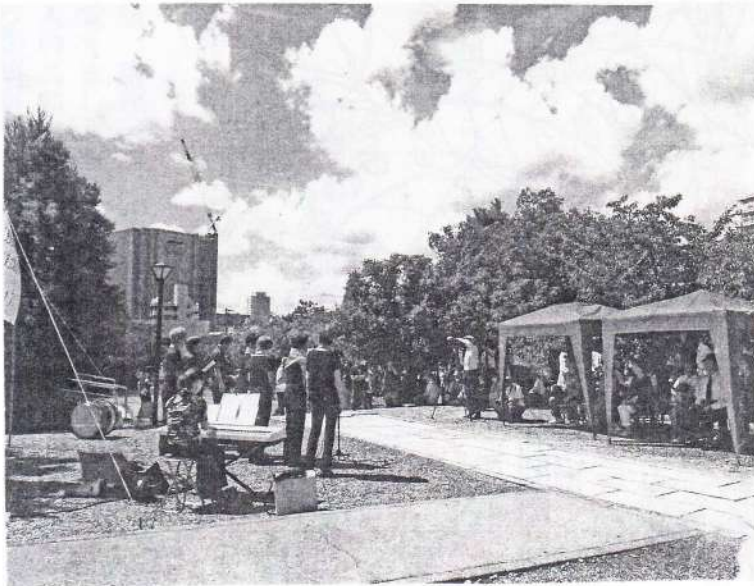
『冤死同胞慰霊碑』前で 関東大震災100年記念追慕祭

「冤死同胞慰霊碑」建立七
五周年・関東大震災一〇〇周
年記念追慕祭（主催Ⅱ「冤死
同胞慰霊碑」管理委員会）が
九月一日、名古屋市千種区の
覚王山日泰寺で行われ、一三
〇余人が参列した。【写真上
Ⅱ提供・平山良平氏】



「冤死同胞慰霊碑」は一九
四八年九月一日に朝連愛知県
本部・他が建立した。副碑に
は現在、八七人の犠牲者の名
前が刻まれている。
日泰寺住職の読経と焼香に
続き、犠牲者の名前が読み上
げられ、黙とうが捧げられた。
李淑姫管理委員会委員長は
あいさつで、関東大震災から

一〇〇年がたった今なお真相
究明がされず、歴史が隠ぺい
され、事実が風化していくこ
とを危惧していると述べ、朝
鮮人差別が残る現代において
慰霊碑を社会に正しく伝える
ことの意義を訴え、追慕祭と
ともに碑を守り抜く活動を広
げてゆこうと訴えた。
追慕祭では文芸同東海支部



会員や同胞たちが、「故郷の
春」「アリラン」など、犠牲
者をしのぶ鎮魂歌を捧げた。
追慕祭に先立ち、奉安塔前
広場で、藤村記一郎氏、北條
義信氏ら、日本の有志らによ
る「とどけ！ アリランの歌」
と題した慰霊のための公演も
行われた。【写真下】

「宗一ハ...大杉栄 伊藤野枝ト共ニ 犬共ニ虐殺サル」

日泰寺

橋宗一少年墓前祭

一九二三年九月、関東大震災後の混乱の中の同月一六日、大杉栄、伊藤野枝と共に、甘粕憲兵隊によって、大杉の甥・橋宗一少年が虐殺されました。
 この宗一少年の墓碑が名古屋の覚王山・日泰寺墓域にあることが、一九七二年に見つかりました。その墓碑の背面に刻まれた『犬共ニ虐殺サル』が、軍国主義に抵抗した証として保存する運動が始まり、「保存会」が発足、以降毎年墓前祭を催してきました。
 四九回となる今年は、九月十一日、墓前祭と懇談会「墓碑保存会の経緯と今後について」(於・香積の間)を行いました。



【写真提供 川平山良平氏】

名古屋千種区の覚王山・日泰寺
 橋宗一の墓碑面から(乾拓後 部分修正)

正面

Mr. M. Tachibana.
 Born in Portland Ore.
 12th 4 1917. U. S. A.

背面

宗一ハ再渡日中東
 京大震災ノ
 サイ本五十年
 二九三九月十六
 日夜大杉栄
 野枝ト共ニ
 共ニ虐殺サル
 Build at 12th 4, 1927
 by S. Tachibana

五人は
 須らく愛不生老
 愛は神水水なり
 橋宗一

取でー子を
 叔父の尻小
 たろ
 あやめむわか奴
 毛のとなり布屋
 橋惣三郎

現在大法院には二〇一八年大法院の強制動員賠償判決と関連して、三菱重工業の商標権二件(梁錦徳の債権)、被告日本製鉄が所有するPNR株式(李春植債権)に対する、特別現金化命令の再抗告事件が



諸君見文 8/29 ソウル

(韓国) 大法院は 被害者が早く死ぬことだけを 待つのか!

それぞれ保留され、最終判決だけ残している。

○一八年大法院で最終的に原告の勝訴判決で結論がついた。しかし訴訟が起されてから十一年(梁錦徳二〇一二年訴訟提起)、一八年(李春植二〇〇五年訴訟提起)に至ったが、まだ最終決着を見られない状態だ。

現在、大法院に保留されている特別現金化命令再抗告事件の場合、債務者が故意に裁判所の賠償命令を拒否している状態で、不可避に強制執行を通じてでも被害者の債権を確保しようというのが、本件の始まりであり結末だ。すなわち、裁判所で既に確定した債券を、司法権を通じて実現

させるための単純な手続きに過ぎないもので、争点にすぎない事件である。

このような点から日本政府及び被告日本企業の破廉恥な態度は、非難を浴びて当然である。大法院の賠償命令を履行するどころか、差押え命令に続き、特別現金化命令に至るまで、あらゆる手段を使って、不服手続きを提起することで、被害者の権利の実現を執拗に妨害して来たからである。彼らの目的は一つ。判決を遅延させることだけだ。

事実、日本企業の資産強制売却は被告日本企業が自ら招いた事だ。賠償命令履行を拒否するだけでは足りず、対話の提案さえくり返し断るのなら、このような状態で被害者

が取れる方法は、強制執行以外に何があるのか?

債務者が不可避な事情によって債務を支払う余力がないのなら、何も述べない。しかし日本製鉄と三菱重工業は、果たして支払能力がなくて今まで裁判所の命令を履行していないのか? それとは反対に、むしろ充分な支払能力がありながら、被害者の切迫した境地は無視したまま、故意に債務を履行していないのではないのか?

このような悪徳債務者から善意の被害を防ごうというのが、強制執行の趣旨でなければ何なのか? こんな破廉恥な日帝戦犯企業の態度を、韓国の司法がいつまで容認して上げなければならぬのか? これを傍観したまま、果たして司法主権を云々できるのか?

このような点から、大法院が十五ヶ月も大法院に保留されている梁錦徳事(二〇二二・五・六大法院受付)に對して、判決を下さないでいるのは、常識的に到底納得できない。同時に、このような

判決遅延事態は、もしかしたら尹錫悦政権の歴史退行に合わせて、悪意の意図があるのではないのかと、深刻に疑わざるをえない。

大法院の異例な態度は、もう何度も指摘されている。外交部は去年七月二十六日、勤労挺身隊被害者梁錦徳さんの特別現金化命令の再抗告事件と関連して、大法院に「意見書」を提出した。「日本と外交的に協議する時間をくれ」と、事実上判決を保留して欲しいという趣旨だった。

強調するが、三権分立を基礎とする法治主義国家で、司法院は憲法が付与した司法院の権限と役割だけを、忠実に遂行すれば良いのである。すなわち行政府の要請を聞いて上げるべき理由などないだけでなく、それが判断の考慮要素になるのなら、それ自体が非常に深刻な事だ。しかし残念なことには大法院は、政権の眼を意欲したせいにか、自らの職務を遺棄したまま、最終判断を今まで遅らせて来た。

このような状況で尹錫悦政権はこの三月、日本被告企業

の賠償責任を被害国である韓国が肩代わりする、いわゆる「第三者弁済」方式という屈辱的な解決案を発表して、国民的に糾弾されている。

百歩譲って、尹錫悦政権が編み出した解決案が憲法に反しているとしても、反人権的でも、当事者が受け入れるのなら、有効な方式になることができるところが現在、大法院に係留中の事件当事者である梁錦徳さん、李春植さんは、政府の第三者弁済をはっきり拒否している状況である。このような状況で、今や大法院が本件に対する最終判断を遅らせる、どんな名分や理由も残っていない。むしろこのような状況でも判決を遅延させたら、深刻な司法不信をもたらすだけだ。

大法院の判決遅延問題は、これだけではない。去る七月三〇日、三菱重工業に動員された金在林さんは遂に、大法院判決を見ることができぬまま、恨多い一生を終えた。二〇一八年十二月光州高等裁判所で勝訴した後、大法院の最後の判決を待ちながら四年七

ヶ月目だった。

現在大法院には原告金在林さんの事件を含み、強制動員被害者が日本企業を相手に訴訟を起して何年も判決を待っている事件は皆で九件あり、最小で四年一ヶ月から四年八ヶ月に至っている。本件も原告と被告の名前が違っただけで、事件の脈絡と構造は二〇一八年の大法院全員合議体判決と何の違もない。既に同じ歴史的背景から発生した類似の事件に対する確定判決まで出た状況で、判決がここまですべて遅滞している理由は果たして何なのか、また別の見えな手が作動しているのではないのか疑わざるを得ない。

憲法第二七条三項は、「すべて国民は迅速な裁判を受ける権利を持つ」と保証している。しかし残念なことに、強制動員被害者には他の国に話になつてしまった。かろうじて一審、二審まで勝つても、大法院が自分の役割を放棄している間に、多くの被害者が何の策もないまま、世を去っているからである。話題を変えて、大法院に尋

ねる。判決を出さない理由は、一体何なのか？ 強調するが、司法院は司法的判断をする所で、行政府の眼を意欲して憲法が付与した権限外の「外交」問題まで考慮すべき所ではない。光復七八年も待ち続けた被害者に、何時までも待つてたと言うのか？

九〇歳を越し一〇〇歳近い被害者を見ながら判決を後廻しにするのは、日帝戦犯企業の破廉恥な態度に同調することであり、大法院だけ眺めて待ちわびてきた被害者に、「いつそ早く死ね」と言うのと同じである。

人権の最後の砦は大法院であり、尹錫悦政府の反歴史的、反人権的、反憲法的歴史退行を問い正す所も、大法院だけである。大法院は右往左往せずに、即刻判決を出せ！

二〇二三年八月二十九日

韓日歴史の正義平和行動

二〇一八年大法院強制動

員訴訟代理人支援団体

【李洋秀氏訳】

鑑賞のおすすめ



【その 88】

韓国映画

『ただ悪より救いたまえ』

(2020年)

監督：ホン・ウォンチャン

伊藤 一郎

(koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会



ぶつかり合う二大俳優

政治に翻弄される姿を

残酷に描く

本作品は2020年に韓国で公開された。映画のあらすじは以下のとおり。

暗殺者のインナム(ファン・ジョンミン(注1))は東京のヤクザであるコレエダ(イ・ジョンジェ(注2))を殺害することに成功する。インナムは、韓国の国家機関の特殊任務を解かれ、しばらく引退生活を送っていた。ある時元恋人がタイのバンコクで殺害されたことを知る。そして自らの娘がいることを初めて知り、その娘が行方不明だということが分かった。インナムはその後、バンコクに渡航するが、現地ではコレエダの部下であるレイが出現する。タイの犯罪組織と警察を巻き込んだ抗争のなかでインナムは娘の奪還を急ぐが、個人的な恨みを晴らすため復讐に來たレイとの対決も強いられる。その後インナムは性的少数者の韓国人に現地での出会い、その協力を得ながら目的を達成しようとする。しかし映画の結末はあっけなく、そして意外なものであつ

た。

映画の舞台は目まぐるしく変わる。韓国、日本、そしてタイ。映画の筋書きが複雑に思えるが、二大俳優(ファン・ジョンミンとイ・ジョンジェ)。二人の俳優は7年ぶりに共演した。両方の俳優とも、一九九〇年代から韓国の映画やドラマを視聴してきた人にとつてはお馴染みである。(ぶつかり合いというシンプルなものである。また一見、殺し屋vs殺し屋の単純なストーリーに見えるが、それぞれの背景に複雑な脚色がされている。)

一方は韓国の国家機関の特殊任務に携わっていたが、情勢の変化によりその任務の隠蔽のため国外に事実上追放された人物である。それぞれの隠れた因縁が物語が進行するにつれて徐々に分かってくる。

朝鮮半島では一九五三年に朝鮮戦争の休戦協定が成立し、戦火は止んでいる。しかし依然として終戦ではなく休戦状態が現在まで継続しており、形式上は戦争状態にある。

他の韓国映画にも見られるように、本作品に登場する国家機関に従事する主人公も、最後には使い捨てにされて悲惨な最後を迎える。国家のきまぐれな政治的状況に翻弄される個人の生活は悲惨である。

作品の舞台がタイという事情からか、本作品には性的少数者（注3）が登場する。

それぞれの複雑な個性が共鳴しあい、独特の作品環境を作り出している。表題にあるように、ストーリーはひたすらインナムが「悪」のコレエダやレイの攻撃から逃れ、家族を救出する展開である。韓国映画には特定の属性の人々（例えば、犯罪映画における中国朝鮮族、等）に対する差別的な描写がしばしば見られるが、本作品も例外ではない。インナムを殺害しようとするレイの描写もそのような問題のあるものとなっている。残酷な振る舞いをする人々の属性を、特定の職業の人々に結びつけるような表現はやめるべきである。最後に、本作品には、極めて過激で、人々を人と思わない残酷な描写が随

所で見られる。無慈悲で、ただむごたらしく、正視できないが、覚悟の上で視聴することをおすすめする。

（注1）韓国映画のお馴染みの俳優である。映画『国際市場で逢いましょ』『新しき世界』『工作 黒金星と呼ばれた男』『ペテラン』『アシユラ』など、出演作多数。映画『工作 黒金星と呼ばれた男』では、出身地である慶尚南道馬山市の方言を披露している。

（注2）一九九〇年代に複数の映画賞の新人賞を受賞し、その後今日まで韓国映画を代表する俳優の一人として活躍してきた。映画『ラスト・プレゼント』では、コメディ俳優（ギャグマン）を演じている。世界各地で一世を風靡した連続ドラマ『イカゲーム』では人情味のある主人公を演じている。『太陽はない』『ム〇人の泥棒たち』『暗殺』など多くの映画に出演している。

（注3）タイは性的少数者に比較的寛容な国とされ、関連する医療サービス等も充実しているとされる。性的少数者の多くは、世界的に周縁化された限られた職業に従事せざるを得ない状況にある。またネット上で展開される性的少数者に対する激しいバックラッシュは目を覆うばかりで

ある。本作品に登場する性的少数者は、その職業で生計をたてており、韓国で当たり前の社会生活ができなかったことを映画で述べている。韓国の保守的な宗教の存在や社会における人権意識の欠如から、性的少数者が海外で暮らさざるを得ない韓国社会の一面を映画は描いている。

平和こそ宝 武器ではなく対話を！
～78年前の現実をあなたの目で～

第26回 平和のための 戦争展・守山

2023年10月13日(金) 10:00 ▶ 10月15日(日) 17:00/3日間

入場料 無料

● 名古屋市民ギャラリー矢田 第7展示室
名古屋東区大幸南一丁目1番10号 カルポト東3号

と
こ
ろ

● 地下鉄名城線 「ナゴヤドーム前矢田」下車 1番出口南へ 徒歩約5分
● ゆとりーと 「ナゴヤドーム前矢田」下車 南へ 徒歩約3分
● 市バス 「大幸」下車 徒歩約5分(名鉄15号系統、東巡回系統)

主催：第26回「平和のための戦争展・守山」実行委員会 後援：名古屋市教育委員会

歴史の心

第8講 高麗の輝き その2

金宗鎮

4 高麗の仏画

高麗の絵画には、国立美術研究所にあたる画院と仏教界(寺院)の仏絵師が主流であった。

今一つ、科挙に合格した知識人による文人画が始まっていた。

画院の遣宋使と宋画員の招請がおこなわれた。

李寧の「礼成江図」は宋の皇帝の絶賛を得たとの記が残る。しかし仏絵師の高麗仏画こそ本領であった。

しかしながら、百数十点の仏教画が、今の日本の寺院と個人に秘蔵されている。

高麗天台宗の開祖・義天(一〇五五〜一一〇二)関連の大利(靈通寺、興王寺)にも模写の仏画しか無い。

義天は文宗の第四子にして、入宋の求法一四年帰国して遼・宋・日本の仏書を求め、四千七百余巻の『高麗統藏経』を発刊した。

知識人による文人画は、画技を競うものでなく、詩文の

ように、その詩想、瞑想を述べるものだが、高麗の文人画はそのはしりにすぎなかった。

5 高麗の貿易

コリア

「高麗の威信は高かった。

高麗商人は広く隣国や海外に進出し、海外からは使節や商人が高麗との交易を求めて頻りに訪れた。」(『朝鮮史』朝鮮大学校歴史学研究室編・朝鮮青年社)

宋、女真、契丹、日本、アラビアとの交易で、高麗人参、金銀細工品、磁器、紙、筆、硫黄、毛皮を求めた。

アラビア商人は一〇二三年、二五年、四〇年にわたって二〇〇名の隊商を組んで、高麗の絹を求めた。

アラビア商人によつて、高麗(コリヨ)は西の世界にコリアとして知られた。現在、朝鮮をコリアと呼ぶ由来である。

岩波文庫から『高麗史』が翻訳出版されている。日本と

の関係しを拾い集めてみた。

* 日本に遣使 九三七、九三九、九七二、九九七

* 大宰府 高麗に使者 四〇、九七四、一〇二〇、一〇八〇、一〇八二

* 日本人高麗に來降 九九九、一〇一二、一〇三九

* 日本国使 一〇五六、一一一六

* 日本商人 一〇七三、一〇七四、一〇七五、一〇七九、一〇八七、一〇八九

* 日本僧八関会に礼物を献ず 一〇七三、一〇七六、一一一六

以上に高麗への使節団、僧侶の訪問、貿易等が約二十回見られた。しかし、『日本史』は「高麗が建った」「高麗は元に服属した」と素っ気ない。まさに『日本史』の筆法である。

6 高麗の国難

高麗の時代、コリアの存在は地図の上から消滅したかも知れない。大戦乱に巻き込ま

れた

契丹(遼)の侵攻、三〇年の戦争とモンゴルの五〇年の侵攻があった。

宋が亡び、元となった大侵略の中、高麗はからくも、高麗国家の存続を守りぬいた。さまざまな戦争があった。それに加えて、紅巾族の侵入と倭寇の掠奪があった。

(1) 遼の侵入を撃退

契丹(遼)は九九三年(八〇万)、一〇一〇年(四〇万)、一〇一二年(一〇万)の三次にわたって、高麗に侵入した。高麗は開京をおとされた。苦戦を強いられたが、侵入にとどめをさしたのが、『龜州の大勝利』である。

『龜州付近三〇余里は敵の死体で埋まり、契丹軍は殆ど全滅してしまつた』、『朝鮮史』朝鮮大学校歴史学研究室編・朝鮮青年社

高麗の姜邯賛(カン・ガムチャン)は朝鮮史上の三大名将として、歴史に刻まれた。

(2) 元の侵攻に抗す

遼を攻めほろぼし、宋を占領したモンゴルは、元となり、高麗への侵攻(一二三一年か

ら一二七三年)を始めた。

高麗は『山城』に立てこもる戦いと水軍の力戦、『高麗太藏経』の法力と、奴婢たちの身分解放等による全民衆の力戦等によって、世界の『覇者』を迎えうった。

この歴史的意义は大きい。高麗は宋のように国を亡ぼされること無く、高麗国として、国号を維持することになった。

一つの奇跡的、反侵略戦であったと言える。

(3) 倭寇退治

高麗に倭寇が最初に現れたのは一二二三年の金海である。米や食糧、人を掠めた。一四世紀には西南地方の領主の支援の下にその規模は一〇〇隻、二〇〇隻にもなった。一三六六年、高麗は日本に国使書を送り、倭寇退治を求めたが、その効果は無かった。一三八〇年代に、水軍は火砲を装備して絶大な効果を上げた。宋にしか無かった火薬を独自に開発して、倭寇の出撃地対馬を攻め、三〇〇隻の倭寇船を焼き払う等の戦果を挙げた。

た。

錦江河口の倭寇船五〇〇隻を大破した。

戦前の日本の教科書は、『戦国時代の我が国人が海外雄志に富み』、『室町時代の末期に八幡大菩薩の旗を押し立て・武力に訴えることもあつた』と記述した。

同じく戦前の史書『朝鮮史話』(幣原担)には、『我が国民はこの時代からして、もはや国内の生産だけでは飯を食えなかつたのである。いかに辺民といえども何を苦しんで倭寇というような外聞の悪いことは敢えてするで有るか』、『一方をかえりみれば、朝鮮には物資が豊富である。行かざるを得ない。』、『手を出して見ると、向こうは弱虫であるから押し込むことが出来る』とある。

高麗の心、美創

①高麗磁器 秘色の青、やわらかな姿は、世界の至宝となる。

②高麗茶碗 侘びの心の、人の心にやどる。絶えてなし。

③茶道 仏教の教えを、茶の葉に映して、心静かなり。

④高麗大藏経 この世の仏典、八万枚の木版に刻みて、世界の遺産となる。

⑤高麗仏画 仏の衣の、ひだのかすかなる柔らかなさを描く絵画の極みかな。

⑥高麗絹 遠くの道、はるか、アラビアの人の喜ぶ。

⑦金属活字 世の人の使いし、初の金属の活字、ここに創る。

⑧木綿 元の国の種子、ひそかに高麗に根づき、綿の花咲く、東アジアの衣料革命なる。

⑨火薬 宋の発明を、独り工夫して高麗の力となる。

⑩高麗人参 東方医学の花形、今に伝わる百薬の長を産する。

評
論

日本の植民地主義は 清算されたのか(続)

—国歌から見た考察—

文 光 喜
愛知朝鮮学園理事長

【前号からのつづき】

政府は、「軍人勅諭」(忠節、礼儀、武勇、信義、質素)の五カ条の徳目を掲げ天皇の命を強制した。その「御真影」が全国の小中学校へ下付され、巡行し始めた一八八七年には、人を神に祀る御霊信仰のもとに、天皇信仰は広まっていた。

日本は「公式帝国」として、一八九四年から初の本格的対外戦争である日清戦争の参謀総長に宮家の有栖川宮熾仁親王(ありすかわのみやたるひとしんのう)が陸海軍を統括した。不安と不信感を募らせた明治天皇は開戦後、「今回の戦争は朕素より不本意なり」としたが、勝利して台湾・澎

湖諸島を獲得すると褒め称えた。極東の島国日本が地域の強国へ、そして日露戦争、第一次世界大戦をへて世界の大国と変貌を遂げていくのに先頭に戴いたのは明治天皇であった。それは、「万世一系」の「神聖ニシテ侵スヘカラ」ざる天皇が統治し、「一視同仁」の同化政策によつて植民地の民族を抹殺する極めて特異な皇民化政策が行われ、大正天皇に続き、天皇讃歌としての「君が代」は「大東亜共栄圏」の名のもとに朝鮮でも歌われた。

敗戦後、昭和天皇裕仁の「謝罪」では、原爆殺戮の招爆と植民地支配の責任や自国の将兵と市民を「犬死」させ

た責任は一切不問にされ、原爆にのみ責任を押し付けることで全て帳消しになってしまった。「戦争の責任」として、開戦・継戦・敗戦の法的・政治的・歴史的・道義的社会的な責任は一切問われず、「平和の象徴的権威」を具現化している「国体」＝「国家統合のシンボル」として、免責になつたのである。それと共に、植民地支配に対する歴史的責任についても一切のお咎めもなく、「道義的責任」だけで終わっているのである。

府は「国歌に関する法案」で、「君は象徴天皇」とする統一見解を閣議決定して、衆参両院で「国旗及び国歌に関する法律」を成立させ、施行された。しかし、「君が代」は「賀(祝い)」の歌ではなく、元来は死者を悲しんで、柩を挽くときに歌われる「挽歌」としている。

「君が代」は天皇を現人神とし、天皇に忠誠を誓う歌として、「強制的に」「法理として」閉じ込めていることから、賛否の声が根強く残っている。このように、三国の国歌を比べて分かることは歴史的背景から国の将来図が見て取れることである。

在日コリアンと植民地主義

日本は「ボツダム宣言」の受諾により朝鮮における植民地の幕を閉じた。戦後のGHQは朝鮮人を「社会的地位の低い明白な少数者集団である。彼らは、日本人に見下され、少なくとも一度、国家的災害が日本を襲った時にスケープゴートとなつた(関東大震災

の朝鮮人虐殺を指す)」ので、「監視対象」にして、無権利の「半難民」の状態にしたことを明らかにしている。

和光大学教授であった、ロバート・リケットは「在日コリアンは、納税をはじめとする義務は日本国民と同様に課されながら、三、四世になっても参政権も公職雇用権もなく、教育などの民族的権利も保障されていない。さらに日本に居住する権利さえなく、あるのは限定付きで滞在する資格だけ」とした。ロバートは日米両国が二面性を持って「正義と自由、人権尊重などを標榜」しながら自国の利益を追求し、反共治安対策のために在日コリアンの市民的・民族的権利を黙殺し、マイノリティの人権擁護の大事な理念を裏切ったことを隠していたと暴露した。

民主主義のもとに再構築された日本の市民社会から切り離され、新しい憲法の庇護の及ばないところで、戦前の「外人」と同様の曖昧な法的地位に置き、いまなお「包摂(日本人化)」と「排除(無権利化)」の二重差別の狭間に立たされ、二流市民として日本市民社会に限られた形でしか参画出来ない多文化社会を構築している。ゆえにポスト植民地問題である在日朝鮮人問題の解決なしには日本の植民地主義は終結したとは言えないであろう。

日本は二〇一六年「ヘイトスピーチ解消法」を作ったが、人種差別を規制する法令は何一つない。日本も批准した人種差別撤廃条約には「植民地主義並びにこれに伴う隔離及び差別のあらゆる慣行」を非難してきた」とあり、植民地主義を克服することは世界の流れでもある。

おわりに

世界は一極型ではなく、多極型になりつつある。BRI

CSが台頭し、米欧が牽引する時代は終わり、グローバルサウスの時代に突入している。人種差別や外国人排斥の問題は植民地主義と奴隷制に繋がり、世界に悲劇的惨状をもたらすことが認められている。

国際政治学者アマタフ・アチャリア(アメリカン大学教授)は「アメリカ世界秩序」が既に終焉を迎え、この大きな転換期を経て形成されつつある世界とは新冷戦でも多極構造でもなく、人類がこれまで経験したことのない世界「マルチプレックス(複合型)世界」としながら、日本外交はこの新しい世界秩序にいかに対応するかと警告している。

フィッツジェラルド(アメリカ文学を代表する小説家一八九六―一九四〇)は「一流の知性とは、二つの対立する考え方を同時に理解し、さらなる展開へと進めることが出来る」とした。複数の、時に相反するような考え方や現象を同時に理解しつつ、さらに思考を進めることが出来る能力が「一流の知性」だという。一方の主張だけを頑なに守つ

ても融和は出来ない。また対話も生まれてこないであろう。二つの考え方を同時に理解することは大変難しいことだと思えるが、日朝間の問題を解き放す一つのヒントになるのではないか。在日朝鮮人をめぐる問題は植民地主義をどう克服するかという、日本人の問題でもある。

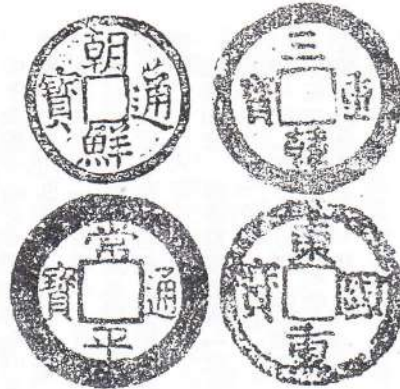
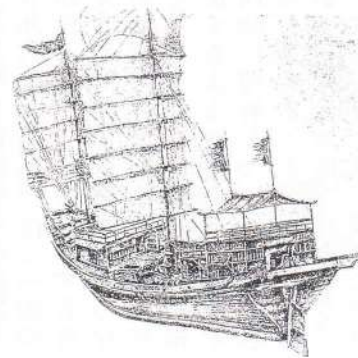
【参考文献】

- 藤田友治『君が代』の起源「君が代」の本歌は挽歌だった』明石書店二〇〇五年
- 『조선전사(朝鮮全史)』(一) 四) 社会科学院研究所一九八一年
- 朴俊相『天皇制国家形成と朝鮮植民地支配』人間の科学社、二〇〇三年、
- 佐々木雄一『リーダーたちの日清戦争』吉川弘文館二〇二一年
- 大沼久夫編『朝鮮戦争と日本』ロバート・リケット『朝鮮戦争前後における在日朝鮮人政策』新幹社二〇〇六年
- 東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』
- 田中宏『在日コリアン問題』
- 保坂正康『昭和天皇の戦争責任』岩波現代全書二〇一五年
- (二〇二三年八月一〇日)

常平通寶

朝鮮貨幣史小考
李朝時代、貨幣発行が本格化

山崎 真臣



高麗期において、少額貨幣は宗主国の唐宋銭が自国通貨として用いられました。(高麗のものは砂金や銀塊で行われていました。)

穆宗帝の時にあって、国威発揚を示すためか、帝の発想か、下臣からの提言だったのか、自国通貨の発行が試みられました。鉄銭であったが、民衆の反発を受け、ほどく発行の中止となったことは、前述しました。

その事が有ってから約百年後の肅宗七(一一〇二)年、今回は銅銭として、「海東通寶」「海東元宝」「海東重宝」「東国通宝」「東国元宝」「三韓通寶」の六種類が、ほぼ同時に

発行されました。そしてその銭の一部、「一万五千貫分を文武両班に下賜された」、そんな記録も残っています。

銭名の「東国」は、宗主国から見て東の国すなわち高麗を、「海東」は黄海の東、やはり高麗を指し、ついに高麗も自国通貨発行が出来る力を持ちました。そんなアピールを備えた銭名となった様です。

その頃の日本は、導入されている舶来銭すなわち唐宋銭を自国通貨同様に扱うことが、是非か非かが、朝廷において協議されていましたが、否定的なものでした、しかし、

「和同開珎」など自国通貨の不足、鑄銭事業の中絶、そして銭貨の流通停止令(永延元「九八七」年、銭貨制止を一条天皇が詔した)か出されるなど、物々交換の時代に逆戻りしそうでしたが、都とその近傍では徐々に通貨使用が浸透しつつあったり、貿易の決済手段として中国銭の必要や土地の売買において、多額の銭貨が必要な為、中国銭を含む支払いが横行したりして、なし崩し的に使用が容認されはじめました。

さて本来の朝鮮貨幣事情に戻りますが、高麗の六種類の銅貨については、鑄上がりか

未熟で肌が粗く、銭の個体の厚さが一定せず、おそらく歩留まりが悪かった為、原価割れが続いて、あまり多く造られなかった様で、現存数の少ない貨幣です。

それから三百年間は、日本と同じ唐宋銭が使われていたが、日本同様、中国銭の輸入に力を入れています。しかし中国国内の銭貨不足が深刻な問題となっており、その為には銭の密輸には厳しい警戒が続けられていました。様々な方法で行われ、嘉定七年(一一二四)高麗と日本を名指して、銭の持出の禁制が出されました。なお、元朝では対策の一環として、紙幣の発行に

踏み切りますが、乱造したため、銭貨の価値が益々、大きくなったと記録にあります。ここで、当時の事を知る良い資料がありますので、紹介いたします。

十四世紀前半に、日中間、或いは日朝中間の貿易船が韓国全羅南道新安郡会島面の目の先の海で沈没船として発見されています。(図は雑誌の表紙を筆者が模写)

雑誌『韓国文化』(一九八七年一月号)に、「東洋最大の古代船舶・新安海底沈没船」と題して、崔光南氏(当時、文化財管理局専門委員)の報告書が載っています。要点だけまとめてみますと、

「引き揚げ遺物」。銅銭二八屯一八疋と陶磁器類、約二万点、他に香木材が約千点、船尾部分から日本製遺物として朱漆椀類と和鏡三点、日本刀の鐔など、日本人が乗って居たのではないかと、疑問点を掲げているのですが、船尾の辺りでは頭蓋骨を見つかることよって、船員の国籍と人類を判別し得る貴重な資料として、頭蓋骨の測定によつ

て中国船員であることが判明した。と、報告書にあります。

引き上げられたられた銅銭約二八トンを貨幣数に割り出すと、七百万枚(当時の銅銭は一枚あたり三七グラムの平均重量と出ていますが、四〇グラムとして計算しました)、しかしこれは少ない方で、新安の沈没船と同じ頃、京の西園寺家が宋に派遣した貿易船では、十萬貫の銭を持ち帰ったと記録にあります。

一貫が千文ですから、十萬貫は一億枚となり、沈没船の十五倍と膨大なものでした。(支払いは砂金と記録にあります)

これだけの量を持ち出されれば、たったものではありませんが、これだけの量を準備する協力的な組織があったことも見逃せません。

李氏朝鮮となり、やつと本格的な貨幣の発行がおこなわれ、中国銭に頼らなくても良い時代が来ます。一四二三年に、まず「朝鮮通宝」が世に出ます。国名を銭名にする事は今までに無いことです。この銭は、金質も良く、文

字も端正でいて、優しさがあり、民衆に愛されたものでした。私も三枚ほど持っていました。が、愛着のある銭でした。なぜ良質な銅が豊富に準備できたかは、次のような事情があったからです。

李氏朝鮮を成立させた太祖(李成桂)は、「尊儒崇文」を国是とし、朱子学を国学と定めました。この事は仏教を廃すること、廃寺となつた本尊や仏具は不用となり、銭の材料とされました。仏教徒も徐々に絶滅へと追いやられます。

まず、全国の寺院を九二まで減らし、四代目世宗の時には、三六をなしくずしに寺院を減らしてゆき、そのたびに大量の仏像が鋳潰され、「朝鮮通宝」と化してゆくのです。現在、韓国などの博物館では、鉄仏像が多く陳列され、銅での仏像は大変少ないのはねその証ではないでしょうか。

しかし、これだけの仏像を潰しても銭の不足があったよう。で、世宗二七年には、銭貨の統铸ができないので紙幣の発行が記録にあります。西

暦一四四四年のことです。

貨銭の不足を為だつたのか、李仁祖十一(一四三三)年に「常平通宝」が発行されますが、この銭は大変な特徴を持つたもので、以前、本誌で紹介していますので多くを語りませんが、この貨幣の特徴は次のようなものです。

この銭は、各省庁が、当然王の決裁を受けてのことでしょうが、発行します。製造元を証するため銭の背面に一字を鋳出した。その他の記録のためか、二字三字、或いは記号を付け、各省庁が独自の方法で行つたため、非常に多種類となりました。ある研究者によれば二千種ねある人物によれば千五百種ほどに分類できると云われています。

以前にも提言しましたが、一つの銭名「常平通宝」常平通宝でそれだけ多種類に分類できる貨幣は、全世界中、今までに他に例のないものでねギネス・ブックに登録されるべき貨幣であります。

なお、この「常平通宝」は近代貨幣が発行されるまで長期製造されます。【つづく】

前へ! 未解決 朝鮮女子勤労 挺身隊問題

名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会2023年総会で確認された方針(要旨)

1、三菱・日本政府に謝罪賠償を求める活動

- ①金曜行動(以下手紙を含む)を継続する。
- ②三菱広島、日鉄、不二越などの支援団・弁護団及び過去清算を求める全国組織との連帯をすすめる
- ③社団法人「日帝強制動員市民の会」との協力・共同をすすめる。

2、会員との日常的なつながりをふかめる。

- ①情勢と課題を共有する学習会を開催し以下②、③に取り組む。
- ②金曜行動への参加をひろくよびかける
- ③カンパを呼びかける。

3、『ほうせん花』光州公演を成功させるための諸活動

- ①「成功させる会」(仮称)のよびかけるカンパ活動に参加する。
- ②観劇ツアー募集(「成功させる会」(案:定数20名)に参加する。

4、スタッフ体制の拡充

- ①世代継承 ※『ほうせん花』公演以後男性2名が新たに参加
- ②女性会員の参加

ほうせん花 2022 つなぐ 記憶と継承

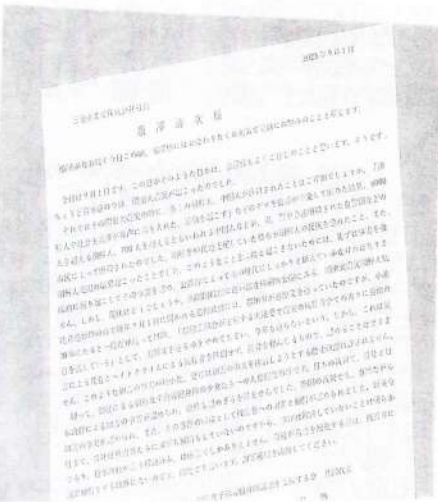


ほうせん花2022 ~つなぐ記憶と継承~

二〇二二年の『ほうせん花』名古屋公演がデジタル盤に



重工本社前の『金曜行動』は続く。八月十八日の第五二六回目の風景



九月一日発、泉澤重工社長宛の『金曜定期便』

いま面白い市民運動の情報誌

地元

グループ紙誌

拝見

●革新・愛知の会

(第三四〇号) 二〇二三・九
 ・十 発行 平和・民主・革
 新の日本をめざす愛知の会 /
 名古屋熱田区)

- 「インタビュー」濱島将周
 さん(弁護士) / いま、ここ
 でSTOPしなければ! / 一
 致点でつながって運動をひろ
 げよう / 国家が個人を監視す
 る社会を許さない
- 「近ごろ思うこと」放射能
 汚染水の海洋放出を許さな
 い! / 河田昌東さん
- 「多数派めざして」給食は
 教育、子どもたちの権利!
 無償化はみんなの願いく佐々
 木ゆかりさん

ほか

●愛労連

(第三六三号) 二〇
 二三・十 発行 愛知県労働組合
 総連合 / 名古屋熱田区)

- 「オピニオン」世田谷の小
 学生に習おう「岸田さんおか
 しくない?」
- マイナカード、国の国民監
 視をゆるさない / 「マイナ保
 険証ストップ」からマイナカ
 ード推進止めよう
- 「愛知の味覚」瀬戸の焼き
 そば

ほか

●窓の会

(第八七号) 二〇二三・八・十
 二 発行 これから出版 / 豊橋
 市)

- カラスとの奮戦記 / 水谷し
 ゐり
- 賢治をプロデュースした盛
 岡市の文化人 菊池暁輝 / 大
 伊和雄
- ローザと野枝 / 辻 恵

ほか

●あま東部

(No. 一七四) 二〇二三・八・二

○ 発行 愛知東部平和委員
 会 / 海部郡大治町)

- 「ピースカフェ」高校一年
 生とともに明日の平和を考え
 る
- 「あいち平和のための戦争
 展」見る、知る、語る、そし
 て受け継ぐ / 知っている者は
 語れ、知らない者は学べ
- 猛暑にも 沖縄と連帯、名
 古屋アクションまる七年

ほか

●日中友好新聞・愛知県連版

(二〇二三年九月一日 発行
 日中友好協会愛知県連 / 名
 古屋市千種区)

- 講演「作られた「台湾有事」
 ・め米中対立の中での日本」
- 「中国ものしりコーナー」
 四大仏教名山(五台山・普陀
 山・峨眉山・九華山)
- 第四七回愛知きりえ展 / 十
 月十日から十五日、名古屋市
 民ギャラリー栄・八階・第十
 展示室

ほか

●平和新聞・愛知版

(二〇二三・九・五 編集 二
 愛知県平和委員会 / 名古屋東
 区)

- あいち総がかり行動・マイ
 ナンバー いらぬ / 八月十九
 日、名駅・栄・金山
- ロシアのウクライナ侵略に
 抗議 / 市街地の攻撃で市民が
 犠牲に
- 原爆展「原爆と人間」展に
 八〇〇〇人 / 金山駅コンコー
 ス内で開催

ほか

●草の根

(二〇二三・九・六 発行 二
 原水爆禁止愛知県協議会 / 名
 古屋市東区)

- 日本政府に核兵器禁止条約
 の署名・批准を求める署名 / 県
 内一〇〇、九三七筆 (二〇二
 三・八・十現在)
- 瀬戸市が原爆パネルを購入
 / 市役所内で展示
- 鐘の音とともに、愛知で広
 がる平和の波

ほか

●なごや市職

(第二三八九号) 二〇二三年八月二十一 発行 名古屋市職員労働組合 / 名古屋市中区三の丸

○「総務局交渉」人員増待つたなし / 現場の過酷な状況を訴え

○学んだことを保育に活かしたい / 全国保育団体合同研究会 in 福島

ほか

●ポラム

(第一四一号) 二〇二三・九・一六 発行 岐阜朝鮮初級学校の子どもたちを支援するポラムの会 / 岐阜市長良

○「教室から」ウリハツキヨの夏休み

○関東大震災一〇〇年 / 松井和子

○神岡鉱山と関連施設での強制労働と朝鮮人労働者遺骨 / 下寫義輔

ほか

●瀬戸地下軍需工場跡を

保存する会会報

(第一七七号) 二〇二三・九・十 発行 同会 / 瀬戸市

○新たな出会い、新たな思い / あいち平和のための戦争展 / 会場でのお話 / 朝鮮で行方不明になった伯父の手紙

○瀬戸市顕霊誌にみる戦没者一七五名の記録 / ピースフェスティバル in せと / 戦争体験を語り継ぐ会第三回

ほか



★全国からの通信

日朝協会

【京都版】 二〇二三・九・一

○京都日朝「青春クラブ」 / 会員交流企画 大原のつどい / ウクライナに平和を！ カ

テリーナ・コンサート (十六)

○学習講演会・康宗憲氏「朝鮮戦争はなぜ終結しないのか」 / 平和のための京都の戦争展

【東京・中野版】 二〇二三・

ほか

九 ○この夏の『名城』巡り / 宮本智

○高麗博物館連続講座 / 複合差別とマイノリティの人権 / 李信恵さんの講演を聴いて / 池田一雄

○朝鮮人虐殺真相調査を！ / 差別に反対する学生ら 都知事に要請

ほか

【石川版】 二〇二三・八・二〇

○歴史フィールドワーク / 明日香村と法隆寺 宇治市ウト口地区・祈念館

○韓国語 朝鮮語 講座 / 講座の内容 ①歌を覚えよう ②韓国人・朝鮮人の名前と読み方をおぼえよう ③簡単な日

常あいきつと会話を④文化歴史、そして今を学びましょう ⑤学びながら、いろいろ話しましょう

【埼玉版】 二〇二三・九・一

ほか

○平和は対話 武力によらない 平和の道をさぐる / 平和のための戦争展が開催

○関原正裕著『関東大震災 朝鮮人虐殺の真相・地域から読み解く』 / 永塚友啓

○関東大震災一〇〇年 / パネル展・映画『関東大震災朝鮮人虐殺記録映画 第3作(タイトル未定)』

【群馬版】 二〇二三・九・一

ほか

○関東大震災・朝鮮人虐殺事件一〇〇年 / 藤岡集会と中川五郎コンサートに集まろう

○原発は文明のお化け・福島はわすれない / 「安全」と「安心」について考える / 新井忠夫 / 二〇二三年 平和のための戦争写真展 / 松本和江

ほか